

於 二宮町教育委員会事務局

平成27年1月30日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 10時 00分
- 2 閉会時間 12時 15分
- 3 委員長名 蓮 實 茂 夫
- 4 署名委員
- 5 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	蓮 實 茂 夫
2	○	山 内 み どり
3	○	小 林 徳 博
4	○	吉 田 美 佳 子
5	○	府 川 陽 一

- 6 出席者氏名
 教育次長 宮川康廣
 教育総務課長 黒石徳子
 生涯学習課長 鐘ヶ江学
 教育総務課指導班長 下澤純二
 教育総務課指導班主幹 新井久美
 教育総務課教育総務班長 竹本直昭
 教育総務課教育総務班主任主事 関田智恵子
- 7 傍聴者 なし
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主任主事 関田智恵子

平成26年度1月教育委員会定例会会議録

日時：平成27年1月30日（金）

10時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

— 開会宣言 —

（委員長）平成26年度1月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

吉田委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）1月事務報告を行う。

（教育次長）1月政策会議報告及び平成26年第4回12月議会定例会・教育関係審議状況報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （小林委員）2点あります。1点目は、二宮町と大磯町間で教職員の人事異動を行う中郡人事交流が停滞しているとのことですが、中郡だけでなく中教育事務所管内の人事交流も含め、どのように推進しているのか教えてください。2点目は、生涯学習部門と首長部局との兼ね合いのバランスについて、首長部局から直接生涯学習課へ事業内容等について指示をされることは現実にあるという状況なのか教えてください。首長部局には外部から様々な情報が入ってくるので、迅速な対応を図るために直接指示されるということもあるのかと思いますが、教育委員会部局である生涯学習課への指示に対して、教育委員会はどのようなスタンスで受けているのか、そのあたりのバランスをどのようにしていったら良いのかが見えてこなかったので説明をお願いします。
- （教育長）1点目の広域人事交流については、平成13年頃に教職員人事の任命権者である神奈川県教育委員会より、学校数の多くない自治体はその中だけでは適切な人事配置が出来ない場合もあるので、車で1時間程度の範囲内で市町村の枠を超えて人事異動を行った方が良いとの指導があったことから始まったものです。平成15年頃から中教育事務所管内においても内規を定めて中管内広域人事交流を始めました。中郡人事交流は長い間見送られてきましたが、両町の政権交代に伴い、平成20年度の春より始まりました。当初はかなりの人事交流が行われていたのですが、年月の経過に伴い活発な交流が図れなくなっているという状況です。当初の目的に立ち戻り、中郡という小さな範囲だけでなく、中教育事務所管内で大きく交流が図れるよう、内規の見

直しをお願いしたところです。

- （教育総務課長）中管内広域人事交流は、二宮町・大磯町・平塚市・秦野市・伊勢原市において、3年間の研修という形で採用された市町とは別の市町の学校に勤務するというもので、人数を決めて定期的に行っています。中郡人事交流は、8年を超える者を基準として二宮町・大磯町間で人事異動を行うというもので、毎年双方で確認しながら行っているのですが、それぞれの事情により難しい部分もあるということです。
- （教育次長）2点目についてですが、組織の規模があまり大きくない二宮町では、これまでも町長が生涯学習課関連施策について直接指示を出すということではございました。町長は町民の皆様の様々な思いを背負って町政にあたられていますので、今後もそのようなことはあるかと思いますが、その際には教育長に随時報告することを心掛けています。
- （小林委員）1点目について、中管内広域人事交流は非常に有意義で、人事交流から戻った教職員はものの見方も変わると感じます。システムの違いを学んで戻って来るといふ素晴らしさがあるので、今後も続けていただきたいと思います。また、人事異動は希望を第一とするとは言われていますが、基準を定める等して、中郡内での人事異動も活発になると良いと思います。地域の教育力を高めるという点でも、中郡をひとつのプールと考えて人事異動を行うことは大事ですので、難しい面もあるかと思いますが、よろしく願います。2点目について、町長も様々な情報が入ってくる中で気が付いたことを伝えなければという思いからの指示かと思いますが、教育委員会会議の場で話し合うことも大切なことだと思います。生涯学習部門を首長部局へ移管する自治体もあるようですが、教育委員会が主管するものは教育委員会という姿勢も大事かと思しますので、教育長との連携を密にしていいただければと思います。
- （教育長）4月からは新教育委員会制度の施行に伴い、首長と教育委員による総合教育会議が設置されます。コンパクトな組織の中で、生涯学習部門を教育委員会と町長部局がいかにか共同して推進していけるかということは重要な課題だと思いますので、総合教育会議の場で積極的に発言していただければと思います。
- （委員長）中管内広域人事交流は内規による定めがあるとのことですが、中郡人事交流についても内規等があるのですか。
- （教育総務課長）中郡人事交流は両町間で覚書を締結しており、人数は明記されていませんが、8年を超える教職員について人事異動を行い、交流を図るとされています。しかし、人事異動は相手があるものですので、なかなか調整が難しいということです。
- （教育長）原則はあるのですが、内規がしっかりと定められていないので見直しを図りたいと思っています。
- （山内委員）政策会議にて、町長より学校給食の特色づくりとPRについて指示があったとの報告がありました。学校給食を二宮町の特色ある事業のひとつとして町広報紙やホームページ等で大きく取り上げ、町をPRしていこうというお考えだと思いますが、学校給食は子どもたちの健康増進のために実施されており、その目的に沿って献立内容等を追求していくことが本来の姿ではないかと思っています。町の名産をPRするためのきっかけとして特色づくりをするようにとの指示だったのか気になりましたので、町長の意図を教えてください。

- （教育長）町長は、住みたい町・住みたい町として、特に子育て世代が全国の自治体から二宮町を選択するようになってほしいということをビジョンのひとつとして持っています。二宮町では、子育て世代にとって関心のある教育の分野について様々な取り組みをしているのですが、発信力が弱いのではないかとということで、中学校まで完全給食を実施していることは大きな特色なのでしっかりとPRをするようにという意図です。
- （山内委員）二宮町の給食は他と比較して誇ることが出来る内容なのですか。
- （教育総務課教育総務班長）県内では、特に県東部において、中学校まで完全給食を実施している市町村は多くはございません。また、献立についても、地場産品の活用や毎月食育の日に各地の郷土料理を扱うといった取り組みをしております。
- （教育総務課長）様々な取り組みを行っておりますので、町広報紙やホームページを活用して町内や町外の方々にお伝えしていこうと考えています。
- （小林委員）教育委員会会議で以前より話題になっていましたように、様々な取り組みをアピールすることはとても良いことです。県内に住んでいる方々でも、二宮町が中学校まで完全給食を実施していることをご存知ない方もいらっしゃると思いますので、取り組んできていることをPRするという事は大事だと思います。
- （吉田委員）県下で中学校の完全給食を実施している自治体はどのくらいあるのですか。
- （教育総務課教育総務班長）センター方式・自校方式等の実施方法の違いもあり、一概には言えないのですが、センター方式での完全給食の実施自治体数は県西地域を中心に数自治体というところではあります。
- （吉田委員）中学校での完全給食の実施については報道でも取り上げられていますが、働く保護者にとって中学校まで給食があるということは非常に嬉しいことだと思います。二宮町の保護者にとっては当たり前のことなのですが、それは他ではあまりないことなのだとすることを、町民の皆様に伝えていくことも大事です。お友達が住んでいるからという理由で二宮町に引っ越して来られる方もいらっしゃると思いますので、町民の方々へのPRも行っていくことで、子育て世代の方々の口コミにつなげることも出来るのではないかと思います。また、特色づくりのひとつとして特色あるメニューが挙げられていますが、町の名産品にこだわるのではなく、PTAの意見も取り入れながら、子どもたちが楽しく食べられるようなものをお願いします。ところで、町議会で、将来の町づくりの主役となる青少年の健全育成についての質問に対して、子ども会等各団体の加入率増加のための方策等については関係者の意見を伺いながら改善に向けて検討していくと答弁されたとのことでしたが、具体的にはどのように考えているのか教えてください。
- （教育次長）各団体の活動の低下は社会環境の変化に伴うものかと思いますが、まずは団体の活動の鍵になると考えている青少年指導員の方々に意見を伺いながら方策を見出していければと思っています。そのうえで教育委員の皆さんと協議し、青少年育成事業をより良いものとしていければと思っています。
- （小林委員）子ども会加入率70%という数字は、学習塾や各種クラブの活動もあるという現在の体制の中で、それ程悪い数字ではないという気持ちもあります。100%の加入率を目指すことは難しいと思いますので、実際に参加している方々の活動をいかに活性化していくかという観

点で話し合いをしていただければと思います。

- （吉田委員）70%の加入率とのことですが、地域間での格差があり、子ども会に入って当たり前という地域もあれば、声を掛けても断られてしまうという地域もあります。また、各種クラブに加入している家庭の多くは子ども会にも加入しており、役員を担う保護者もそれ程負担を感じることなく活動しているようです。しかし、保護者の負担感から各種クラブや子ども会に加入しないという家庭も増えており、そのような家庭の事情により活動に参加出来ない子どもが増えてしまうことが残念であり、悲しいことだと思います。保護者の事情が子どもの活動に大きく影響することのないよう、町や地域でいかに支えていくか、どのように地域の活動につなげていくか、活動の場が提供されない子どもにいかにチャンスを与えることが出来るかが大事になります。二宮町に住む全ての子どもが、様々な行事に参加出来るような環境が作れると良いと思います。
- （小林委員）家庭との絡みで、どのようなサポートが出来るか難しい部分もあるかもしれないですね。
- （吉田委員）実際に活動している方々は、入学準備説明会でのチラシ配布や会費の値下げ等の工夫をしながら加入率の向上を図っているという状況です。現場を見たり、現場の声を聞いたりもしていただき、保護者も喜んで活動が出来るような環境になればと思います。
- （委員長）難しい課題かと思いますが、改善に向けて進めていただければと思います。

— 付議事項 —

議案なし

— 報告・協議事項—

- （1）平成27年度二宮町教育委員会基本方針（案）について
（教育次長・各課長）平成27年度二宮町教育委員会基本方針（案）について説明。
- （小林委員）今後のスケジュールを確認させてください。
- （教育総務課長）本日お示しした内容をご確認いただき、2月10日までにご意見があればご連絡をいただきたいと思っております。いただいたご意見を反映し、修正したものを再度ご提示させていただいたうえで、2月の定例教育委員会議にて議案として諮りたいと考えています。
- （山内委員）重点施策の『2「生きる力」の育成（1）①各教科等における言語活動の充実』とありますが、具体的にどういったことなのか教えてください。
- （教育長）こちらは平成20年度に文部科学省より示された学習指導要領において、思考力と言語活動は密接な関係があり、表現力を身に付けさせる学習へと転換が求められていることに基づくものです。教科を問わず、教師の話聞くという力だけでなく、なぜその答えを導いたかを子どもたち自身が人前で説明出来るような力を養う教育を推進していくというものです。

(2) 体罰の実態把握に関する調査について

(教育総務課指導班長) 体罰の実態把握に関する調査について説明。

- (吉田委員) 本調査は神奈川県教育委員会からの依頼で実施するとのことですが、調査項目の雛形等はあるのですか。
- (教育総務課指導班長) 調査項目等は県教育委員会より示されており、県下統一の項目となっています。
- (吉田委員) 子どもたちは学校で調査票に記入するのですか。
- (教育総務課指導班長) 個人情報保護の観点から、アンケート調査票は自宅に持ち帰り、該当のある場合には自宅で記入し、封をしたうえで提出していただくこととなっています。
- (吉田委員) 小学校低学年の児童では難しい文言もあると感じましたので、確実に保護者の手に届くような配慮をしていただければと思います。なお、調査を実施することは良いことだと思いますが、「二宮町教育委員会」として文書を発するのであれば、もう少し早い時期に提示いただき、内容を検討する時間を設けていただけると委員としてはありがたいと思いました。
- (委員長) 本調査は今回で三度目となりますが、前回実施時に大きな問題となるような事案はありましたか。
- (教育総務課長) 体罰事案があれば県教育委員会に報告することとされていますが、前回の調査では報告事案はございませんでした。なお、指導が必要な案件については、町教育委員会より校長に対して指導をしています。

(3) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う新たな教育委員会制度について
(教育次長) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う新たな教育委員会制度について説明。

- (教育長) 現行の教育委員会制度の精神を新制度に引き継ぐために、教育委員会が主体的に新体制へ移行することによって、教育委員と首長が教育行政について対等に話し合う場とされている総合教育会議において主導的な役割を担いたいという思いがあります。また、教育委員会は時の政治や経済に流されることなく、未来の子どもたちに負の遺産を遺さないよう努力する組織であるという観点から、教育行政の政治的中立性について、現在の委員の皆さんに総合教育会議の場で積極的に発言していただきたいとの意味もあります。さらに、町づくりを行ううえで重要な課題である生涯学習部門について、総合教育会議の場で町長と直接話し合うことにより、結果的に町長の掲げる「子育て世代に選ばれる町づくり」へのバックアップが出来るのではないかと考えています。
- (小林委員) ご説明の趣旨で良いと思います。総合教育会議の主管課は首長部局になると思いますが、教育長の思いをしっかりとつなげられるように調整をしながら、運用していただければと思います。

(4) その他

(教育次長) 生涯学習課各種事業等の方向性の転換について説明。

(生涯学習課長) 子ども会祭りについて説明。

— 次回教育委員会予定 —

(教育総務課教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

(委員長) 平成26年度1月定例教育委員会議を終了いたします。

12時15分 終了